令和5年度菊池市公共交通会議　議事録

■日時　　令和6年2月9日（金）14時～15時

■場所　　菊池市公民館　2階　中研修室

■出席者　会議資料のとおり

〈議事１：株式会社TaKuRoo菊池温泉営業所の閉鎖について（報告）〉

◎株式会社TaKuRooより閉鎖理由について説明

　熊本電鉄タクシー菊池営業所の運営について、株式会社TaKuRooの前身である旧会社ミハナタクシーが運行していた。運行継続については当時から厳しい状況ではあったが、地域の足を残すべきであるという方針のもと、他10社を合併し株式会社TaKuRooとして運行を続けてきた。昨今タクシー業界は慢性的に乗務員不足であり、補充もできなくなってきた。原因は営業収入（賃金面）が厳しいこと、若手の参入・就業が厳しいこと等が挙げられる。

株式会社TaKuRooの「地域から地域の足であるタクシー事業者がなくなってはいけない」という考え方のもと、引き続き運行していこうと考えていた。しかし、運営していくなかで、菊池市には他にもタクシー事業者が存在しており、TaKuRooが撤退することでTaKuRooの利用客等も含めて他事業者に引き受けてもらうことで、他事業者の運営改善に寄与できると考えた。実際に熊本県のある地域では、タクシー事業者が4社あり、そのうち3社をまとめて合計2社にコンパクトにすることで需給バランスが取れて経営が改善し、運営ができているという事例がある。その様な経験からTaKuRooが撤退することで菊池のタクシーの経営が成り立つのではないかと考えた。

**◎事務局**

　株式会社TaKuRoo撤退後の運行方法、1月の運行状況について説明。

⇒意見なし。

〈議題２：きくちあいのりタクシー泗水西部地域の運行時間変更（案）について〉

**◎事務局**

　泗水西部地域線運行時間の変更経緯と変更内容について資料８～９ページをもとに説明。

**〇上田委員（泗水区長会長）**

　ドライバー不足等の問題があるとのことだが、実際に泗水東部・西部地域線は何人のドライバーで対応しているのか。時間をずらす場合、東部地域線の運転手が西部地域線も運行するという対応になるのか。

**〇荒木委員（泗水タクシー）**

　現在は東部と西部でタクシー2台（2人）をあいのり運行のため確保している。東部・西部ともに同じ時間で運行しているため、2台必要になるが台数も限られており、あいのりタクシーを優先することで一般の利用者の予約を受けることができない状況が続いていた。あいのりタクシーを1台で対応できるようになれば一般のタクシー業務も対応できることから、利用者が少ない西部地域の運行時間を30分後ろにずらすことを提案した。

**〇小林委員（熊本運輸支局）**

　菊池市においては山間部で暮らしている人の交通手段としてあいのりタクシーは重要なものである。1月の運行に関しては問題ないとの報告があったが、働き方改革関連法施行に伴い、4月からバスやタクシー運転手の労働時間が限られる中での運行になる。3社で引き続き対応は可能なのか。

**〇荒木委員（泗水タクシー）**

　4月からの労働時間についてはまったく問題ない。長時間拘束しておらず、運転手1人の勤務日数も限られており、4月からも引き続き運行できる状態である。

**〇最上委員（キクチ観光タクシー）**

　泗水タクシーと同様問題ない。

〈その他〉

**〇吉田委員（熊本県タクシー協会）**

　タクシー・バスともに人手不足が深刻化している。持続可能な公共交通のため運転手の募集が必要。バス・タクシー含めて、地域交通の担い手を地域全体で考えてほしい。地域計画の中に広報やHPでの運転手募集を含めるなど公共交通の衰退を防ぐために考えてほしい。

**◎事務局**

　承認内容について今後の手続き・対応について説明。